



わな猟での使い方

罠を仕掛けたその場でポイントを作り、見回りのたびに記録を足していく。罠の場所も、見回りも、捕獲も、ひとつの地図の上に残ります。

対象バージョン 1.0.5

罾も、見回りも、捕獲も。ひとつの地図の上に。

マップセット

2025夏 罾見回り

罾場をまとめる入れ物。
シーズン単位で1つ作ります。

ポイント（カテゴリ = 罾）

罾1基 = ポイント1つ


沢沿い 1番

くくり罾 / 猟具番号 A-12


杉林の下 2番

箱罾（大） / 猟具番号 A-13


尾根の道 3番

くくり罾 / 猟具番号 A-14

記録（罾見回り・捕獲）

1つのポイントに、何件でも積み上がる

8/3 異常なし

8/5 空はじき

8/7 捕獲あり

8/7 捕獲記録 イノシシ 1頭

地図に出るのは罾のピンだけ。記録はピンをタップして、時系列で読みます。

準備してから入り、現地では記録に集中する。

1

準備する

マップセットを作り、仲間を招待。
罾場一带の地図をエリアダウンロードしておきます。



地図を取り込む

2

罾を仕掛ける

その場でポイントを作ります。位置
は「現在地」を押すだけ。罾の種
類や猟具番号も一緒に。

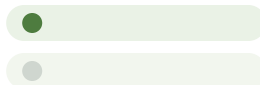


ポイントを作る

3

見回る

地図でピンをタップして記録を追
加。状態を 7 つから 1 つ選べば 1
件残ります。



状態を選ぶ

4

捕獲を記録する

状態「捕獲あり」で保存すると、
続けて捕獲記録を作る導線が出ま
す。



捕獲記録へ

5

振り返る

分析ダッシュボードで期間やカテ
ゴリごとに集計。CSV / PDF に出
力できます。



集計する

準備だけ、電波のあるところで。招待と地図のダウンロードを済ませておけば、現地は圏外でも記録し続けられます。

入る前に、この 3 つだけ。

2025夏 農見回り

 農のポイント

 見回りの記録

1. マップセットを作る

農場をまとめる入れ物です。「2025夏 農見回り」のようにシーズン単位で 1 つ作ると、集計も引き継ぎもきれいに分かります。



編集できる

閲覧だけ

2. 仲間を招待する

招待コードでメンバーを追加します。閲覧だけの人・編集できる人を権限で分けられます。1 マップセットにつき 200 人まで。



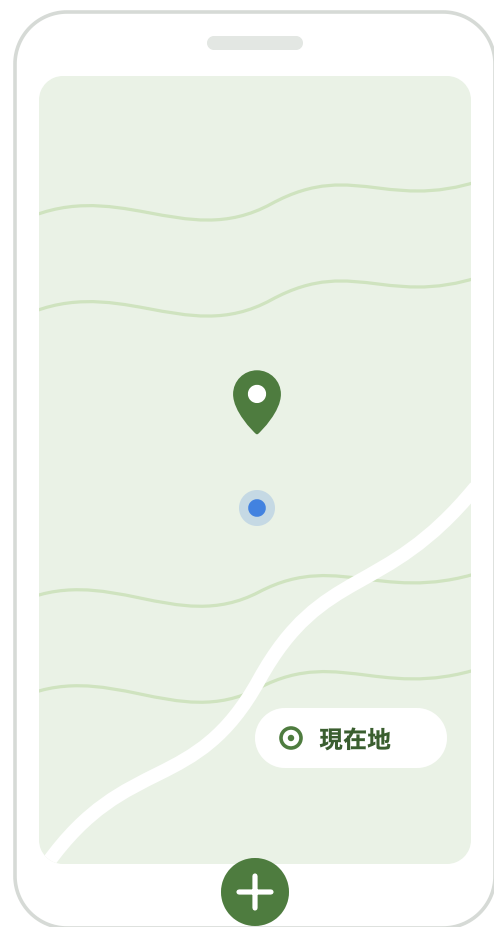
農場一帯をまとめて取り込む

3. 地図をエリアダウンロード

地図画面のメニュー → 「エリアダウンロード」。圏外では、事前に取得していない範囲の地図は真っ白になります。

オンライン 招待コードの発行・受諾は、電波のあるところでの操作です。現地に入る前に、メンバーを入れておいてください。

罾を仕掛けたら、その場でポイントを作る。



1 ホーム中央の「+」→ ポイントを追加

罾のそばに立った状態で開きます。カテゴリは「罾」を選びます。

2 位置は「現在地」を押すだけ

座標を調べたり、リンクを作ったりする必要はありません。地図でピンを動かせば微調整もできます。

3 罾の情報と写真を入れて保存

罾の種類・猟具番号・設置日などをその場で。設置状況の写真もそのまま残せます。

共有していれば、保存した瞬間から全員の地図に出ます。 圏外のときは端末に残り、電波が戻ったときに届きます。

ポイントは「その場所そのもの」です。見回りや捕獲は、このポイントに記録として積み上げていきます。

ポイントに残せること。

基本の項目はその場ですぐ入ります。詳細は「▶ 詳細を追加」を開くと入力できます。

基本 — その場ですぐ入る

保存先 どのマップセット（罾場）に入れるか

設置点名 罾の呼び名（例: 沢沿い 1 番）

位置 「現在地」を押すだけ。地図でピン指定も可

罾の種類 くくり罾 箱罾（大） 箱罾（小） 囲い罾 はこおとし 網
 その他（自由入力）

機構 ねじりばね 押しばね 引きばね
 くくり罾を選んだときにのみ出ます（自由入力も可）

写真 設置状況をそのまま。プランに応じて 1～10 枚

詳細 — 報告と引き継ぎに効く

**猟具番号
（標識）** 標識に対応する番号を残せます

許可、登録番号 有害鳥獣捕獲などの許可・登録番号

設置日 / 設置者 設置日の既定は入力日。設置者の既定は自分（共有メンバーから選択も可）

対象種 イノシシ シカ ツキノワグマ タヌキ アライグマ
 + 自由入力

複数選べます

捕獲区分 狩猟 有害鳥獣捕獲 個体数調整 指定管理鳥獣捕獲等事業
外来種対策

**餌の種類 /
設置メモ** 餌は例: 米ぬか。メモは「トレイルカメラ設置済み」「悪路注意」など

番号 / 色 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
 ポイント番号は 0～999。色は 14 色

見回りは、ピンをタップして記録する。

STEP 1

地図でピンをタップ



STEP 2

「+記録を追加」

+ 記録を追加

位置の入力は不要（罾の座標を引き継ぎます）



STEP 3

カテゴリ「罾見回り」

罾見回り

捕獲

日時は「今」、記録者は自分が既定です

一緒に残せるもの

見回りメモ — 「前回より足跡が増えている」「獣道までは特定できず」といった所見をその場で。**写真** — 現場の状況をそのまま残せます。

詳細を開くと

餌の補充（有 / 無）・**餌の種類**・**罾の調整**・**再設置**（有 / 無）・**周辺の痕跡**も残せます。次に来る人の判断材料になります。

状態は、7 つから選ぶだけ。

● 異常なし

変化なし。いちばん多く押す状態です。

● 捕獲あり

かかっていたとき。続けて捕獲記録に進めます。

● 空はじき

作動していたが、捕獲はなかったとき。

● 餌なし・減り

餌が食べられていた、減っていたとき。

● 破損

罠が壊れていたとき。写真を添えると伝わり
ます。

● 亡失

罠が無くなっていたとき。

● その他

上記以外。撤去したときも、ここ＋メモで残
せます。

タップ 2 回で 1 件

ピンを押して状態を選ぶだけ。メモと写真は
必要なときだけ足せば十分です。

「捕獲あり」だけは、その先がある。保存すると、続けて捕獲記録を作る導線が出ます。

圏外でもそのまま保存できます

見回りの記録も写真も、電波がなくても保存されます。戻ったときに自動で送信され、共有メン
バーに届きます。

記録は、罠ごとに積み上がる。

ポイントを開けば、その罠の見回り履歴が時系列で並びます。罠ごとに読み返せます。

沢沿い 1 番

ポイント番号 1 / 設置者 自分

くくり罠

ねじりばね

猟具番号 A-12

設置 8/1

対象種 イノシシ

餌 米ぬか



設置時の写真

入力した内容はポイント詳細にすべて表示されます。誰の罠か、どんな罠かが、その場で分かります。

この罠の記録（新しい順）

8/13

異常なし

足跡は減った。周辺の藪を刈った。

8/11

捕獲あり

イノシシ 1 頭。捕獲記録に続けて作成。

8/9

空はじき

再設置。ばねを張り直した。

8/6

餌なし・減り

米ぬかを補充。周辺に新しい足跡。

8/3

異常なし

変化なし。

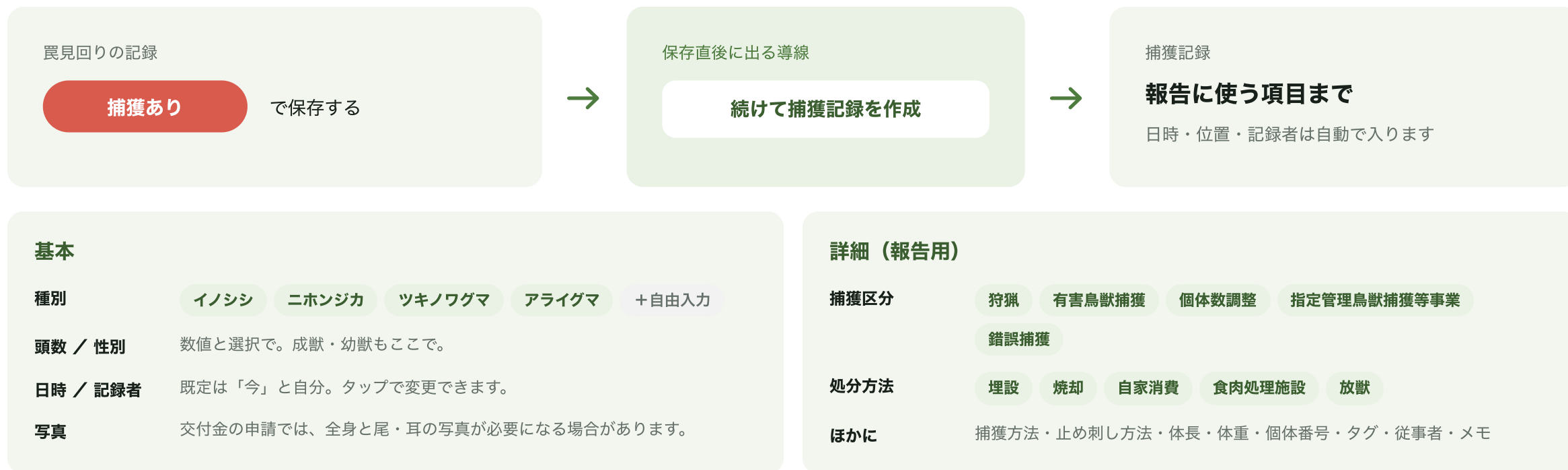
8/1

異常なし

設置直後の確認。

シーズンが進んでも、読み方は変わりません。罠を開けば、その罠に起きたことだけが並びます。

捕獲したら、そのまま捕獲記録へ。



罾のポイントから作ると、捕獲方法にはその罾の種類が初めから入っています。／ 記録の様式や運用ルールは、各自治体・所属団体の指示に従ってください。

電波が届かなくても、記録は止まらない。

1. 圏外でそのまま記録

ポイントも記録も、圏外で作成・編集・削除まで完結します。写真も端末に保存されます。

見回り 8/9 異常なし

ポイント 尾根の道 3番

端末に保存済み

2. 未送信の数が出る

まだ送れていない件数は、設定タブのバッジとマイページの「同期」で確認できます。

設定

未送信 3 件

3

3. 戻れば自動で送信

電波が戻ると自動で送信され、共有メンバー全員に届きます。手動の「今すぐ同期」もあります。

自分



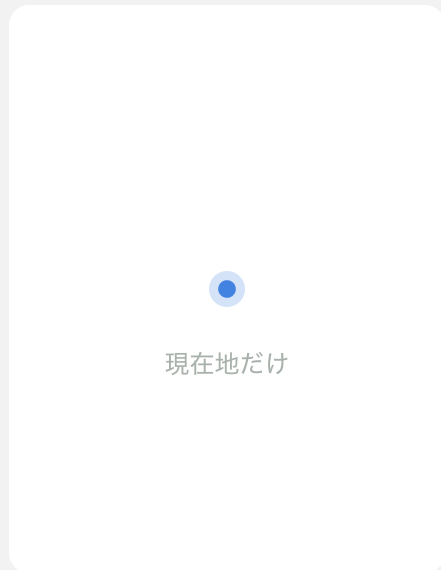
共有メンバーへ

注意 送信が終わる前にアプリを削除すると、未送信分は失われます。帰宅後、バッジが 0 になるまではアンインストールしないでください。

出発前に、地図をエリアダウンロード。

圏外では、事前に取得していない範囲の地図は真っ白になります（現在地は出ます）。ここだけは、必ず電波のあるところで。

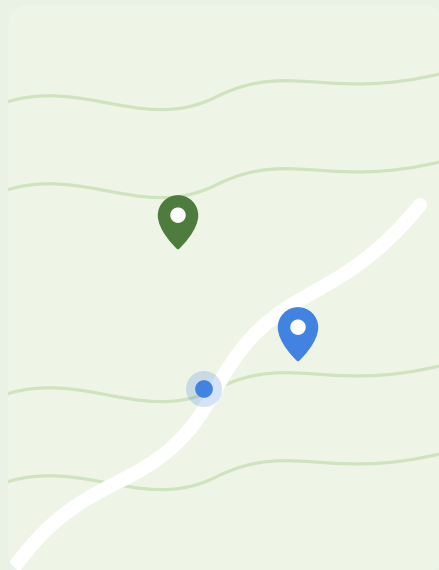
取得していない範囲



現在地だけ

地形も道も出ません

ダウンロード済みの範囲



地形も道も、罫のピンも見えます

取り込みかた

地図画面のメニュー → 「エリアダウンロード」。範囲と最大ズームを決めて開始します。通信量と時間がかかるので、**Wi-Fiのある場所で、出発前に。**

1 回のダウンロード上限

無料 / ライト / スタンダード

300 タイル

プレミアム

1,500 タイル

最大ズームを 1 段上げると、同じ面積でもタイル数は約 4 倍。 入る場所だけ細かく、周辺は粗く。回数を分ければ範囲は広がられます。

一度表示した地図は自動でも保存されますが、上限を超えると古いものから消えます。入る場所は、エリアダウンロードで確実に取っておくのが安心です。

同じ地図を、全員で見える。



全員が同じ地図を見る

誰かが罫を追加すれば、その位置も写真も見回り履歴も、共有メンバー全員に同期されます。

権限を分けられる

閲覧だけの人・編集できる人を選べます。1 マップセットにつき 200 人まで招待できます。

設置者も罫の種類も入っている

ポイントに入力してあるので、後から「誰の罫か」「どの種類か」で絞り込んで見られます。

手分けするときは担当を分ける

同じデータを 2 人が同時に編集したときは、後から届いた方が残ります。担当する罫を分けておく安全です。

オンライン 招待コードの発行・受諾、権限の変更は電波のあるところで。

担当が替わっても、地図ごと引き継げる。

マップセットごと渡す

共有したままにしておけば、次の担当者は罾の位置・写真・見回り履歴をそのまま引き継げます。引き継ぎ用の資料を別に作る必要はありません。

前の担当者



マップセット
「2025夏 罾見回り」



共有はそのまま

次の担当者



位置・写真・見回り履歴が
そのまま手元に

対面で渡したいときは、マップセットをファイルに書き出して受け渡すこともできます（写真も一緒に入ります）。

シーズンで区切る

翌シーズンは新しいマップセットを作る運用がおすすめです。シーズンごとに分かれていると、集計も引き継ぎもきれいに切り替わります。

2025夏 罾見回り

罾 24 / 記録 312

捕獲 18

シーズン終了後も残ります

2026夏 罾見回り

新しく作る

メンバーを招待し直す

去年の記録は、次の設置場所の資料に

撤去した罾は、見回り記録の状態「その他」＋メモに「撤去」と残しておく、翌シーズンの資料になります。

たまった記録は、そのまま集計に回せる。

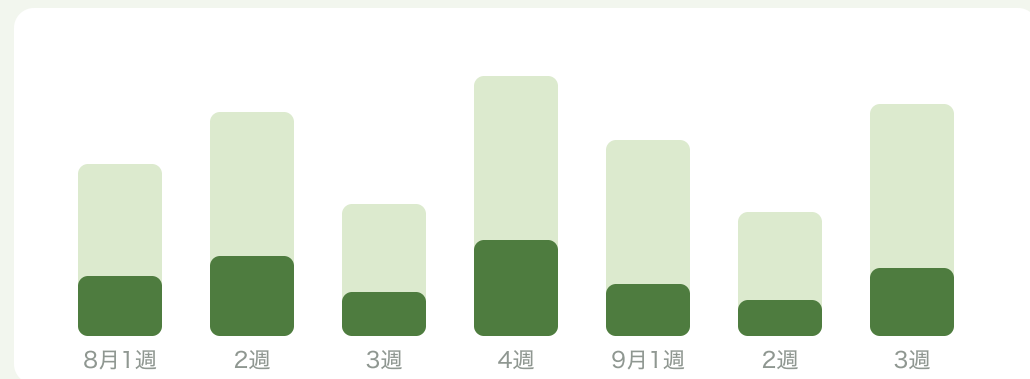
スタンダードプラン以上

分析ダッシュボード

今シーズン

罾見回り

捕獲



↓ CSV 出力

↓ PDF 出力

CSV は、記録に紐づく写真を同梱した ZIP でも出せます

絞り込んで振り返る

期間・カテゴリ・マップセットで絞り込めます。シーズンごと、罾ごと、人ごとに見え方を変えられます。

手で数えずに出せること

今シーズンの捕獲数

空はじぎが多い罾

誰が何回見回ったか

罾の種類ごとの成績

対象種ごとの記録

覚えておく数字

1 マップセットのポイント（罾） **500**

1 マップセットの記録 **3,000**

1 マップセットの共有メンバー **200 人**

シーズンで足りないときは、マップセットを分けて運用します。

消しても戻せる。誰が直したかも分かる。

● 1 件がこの端末にだけ残っています

確認

最近削除した項目

削除から 30 日以内なら戻せます



3番 箱罟

ポイント ・ 削除 8/3 21:03 ・ あと30日

戻す

3番 箱罟

最終更新 山田 ・ 8/3 14:20

誤って消しても 30 日以内なら戻せる

ポイントも記録も、削除から 30 日間はゴミ箱に残ります。現場で操作を誤っても取り返せます。

ほかに変わったこと

編集者は、みんなの罟を直せる

誰が置いた罟でも、現場に行った人が位置のズレをその場で直せます。前任者が抜けても止まりません。

相手の編集がすぐ映る

同じマップセットを開いていれば、仲間が直した内容がその場で反映されます。

保存できなかったら赤い帯で知らせる

断られた理由と対処が分かります。入力した内容は残るので、直して送り直せます。

現地でやることは、3 つだけ。

- 01 罠を仕掛けたら、その場でポイントを作る。位置は「現在地」を押すだけ。
- 02 見回りは、ピンをタップして状態を 1 つ選ぶ。メモと写真は必要なときだけ。
- 03 捕獲したら、そのまま捕獲記録へ。報告に使う項目まで残せます。

入る前に、仲間の招待と地図のエリアダウンロードだけ済ませておく。

あとは圏外でも記録は残り、電波が戻れば全員に届きます。シーズンの終わりには、地図がそのまま記録になります。